

北のうせん

発行 富山県入善町役場
編集発行責任者 本田清治
印刷所 入善町池原印刷所

No. 127

昭和42年 8月1日発行

活気づく

青少年のいこいの場

— 園家山キャンプ地

飯野園家山砂丘一帯は県指定キャンプ地に認定され、ここ数年來とみに脚光を浴びてきています。七月中旬から八月にかけてのキャンプシーズンには、町内はいうにおよばず、県下各地からおしよせるキャンパーの群でいっぱい。海岸一帯にくりひろげられるキャンプファイヤーは夜空を焦がし若人は流れるメロディにのってゲームにうち興じます。

青い海と青松白砂の自然美を満喫しながら、きびしい暑さに負けない体力と、規律正しい生活を身につける格好の場所、それがこの園家山キャンプ地なのです。

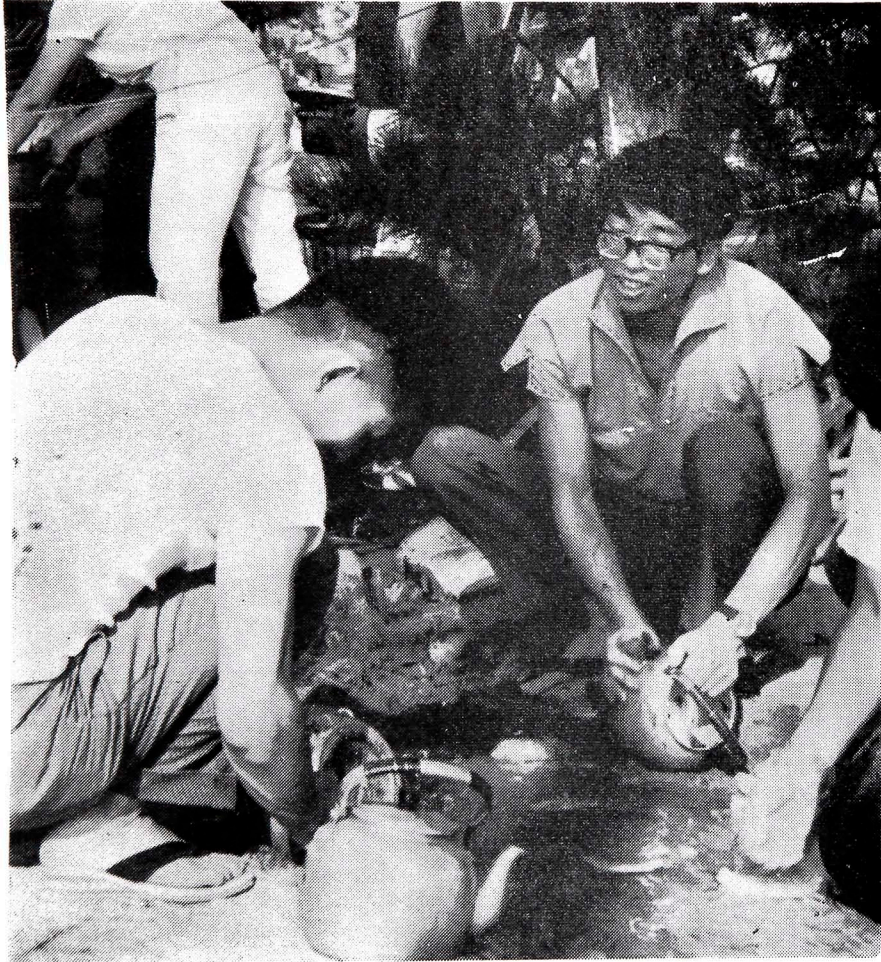
夏山に注意

もしもし
お荷物か
まらがつて
いやしませんか



今月のこよみ

- 1日 役場の機構改革
- 2日 議会 正副議長
委員長会議
- 6日 広島原爆記念日
- 7日 鼻の日
文教厚生委員会
- 8日 立秋
産業建設委員会
- 9日 長崎原爆記念日
公害対策特別委員会
- 11日 議員全員協議会
黒部川流域変更
反対実行委員会
- 15日 終戦記念日
全国戦没者追悼
法要
- 20日 入善町遺族会
追悼法要
- 31日 吉原えびす祭



人口	28,807
(男 13,564 女 15,243)	
世帯数	6,471
8月1日	住民登録数



総力をあげて立ち上ろう

町民総けつ起大会ひらく

「町の命運をかけて黒部川を守ろう」と、七月二十七日午前九時三十分から入善高校体育館でひらかれた黒部川流域変更反対町民総けつ起大会は、約一千名の町民が集って熱気の溢れる中に進められた。

町長の「黒部川の水なしで入善町はあり得ない。死んでも守り抜かねばならぬ。」との強いことばで開会のあいさつがあったあと、議長団の選出を行い、寺崎助役から経過報告がなされ、続いて各校下各層代表の流域変更反対についての意見発表があったが、いずれも町将来のために「断じて黒部川を守らねばならぬ」と繰り返され、固い決意が会場に満ち溢れていた。つぎに掲げたのは当日満場一致可決された大会決議文ですが当日都合で大会に出席されなかった方も、町民総けつ起の主旨を体して、確固不動の態勢で、

黒部川の水……それは私たちの命である

十年一昔しと言ったのはそれこそ昔のことで、今日時勢の流れのテンポの早さは実に目まぐるしい。私たちの住む入善町もまた例外でなく、裏日本の後進性から脱皮して表日本に追いつき、中部経済圏の中の一翼を担

強力に邁進しましょう。なお、当日午後は、大会で選任された決議実行委員五十人が決議文を携えて県庁を訪れ、知事その他関係者に陳情をおこなった。



大会決議

関西電力は黒部川の本流を変更して朝日第一、第二発電所を建設する計画を樹て、県へ水利使用権許可申請を提出しているが、この計画が実現されたとき、黒部川とともに生き、今後も永久に黒部川の水によって生活し、町産業の開発と住民福祉の向上を期さんとする我が入善町にとって、まさに死活問題ともいふべき重大事である。

如何なる理由があっても黒部川の水は黒部川へ流すべきであって、他へ流域変更することは、町将来の不安の上もなく、殊に町の産業の発展に大きな脅威を与えるものである。

我々は祖先より継承した水利権を守るため全町挙げて黒部川の流域変更を絶対反対とする。

以上決議する。

われわれは、この黒部川の水資源を、われわれおよびわれわれの子孫のために無限大の力を発揮させる義務がある。

この豊富な水を多目的に、有効適切に利用する計画こそ、地域の利益と発展につながるものと信ずるのである。

この利用価値の高い水資源を地域住民の手から取り上げ、一営利会社の利益のために、公益事業の美名を借りて流域を変更して発電し、そのまま日本海に捨て去るという関西電力の無謀な計画は地域住民の利益を全く無視したものであり、断呼として反対しなければならぬ。

黒部川の歴史に照らして、黒部川を持つ無限の価値を信じて町民が一致団結し、われわれの生活権と水利権の確保のために生命をかけて闘い抜くこと。それが私たち入善町民のつとめである。



←一千人の聴衆を前に経過報告をする寺崎助役

地方経済が発展してゆく幾つかの要素の中で、大きな役割を果たしているものは何と云ってもその地域に実在する天然資源であり、その最大なるものは水資源即ち、黒部川の水である。

「水」は万物の生命の綱として古来最も大切なものとされてきたが、今日その利用がますます拡大され、まさに無限大ともいふべき価値を持っている。

私たちは幸いにしてもこの偉大な価値を持つ水の流れ「黒部川」を有し、祖先伝来の水利権を確保しているのである。

7月町議会定例会

国保税を引き上げ

上原分団に新鋭消防車

第十六回入善町議会定例会は七月十二日午後二時から開かれ、補正予算案や国保条例の改正案などについて慎重に審議が進められました。その結果、全案件とも原案どおり可決、承認されましたのでそのおもな内容をおしらせしましょう。

▼一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額四億四千七百九十万円に三千六百九十九万五千円を加え、総額を四億八千四百九十万五千円としました。

このおもな内容を歳出の面からみてみますと、まず総務費では二百九十七万円を追加。この中には、旧登記所前に新設中の駐車場工事費や、自動車の修繕料、家屋評価事務の夫賃などがあります。

民生費には七十五万円を追加し、西部保育所前を流れる川の防護さく取り付け、来年建設される芦崎保育所の整地工事費などにあてられます。

農業費には各地で実施されている農業構造改善事業の補助として一千二百五十万円を、商工費には工場誘致特別会計への繰入金として一千六百三十万円を

追加しました。消防費には二百五十万円を追加し、上原分団に新鋭消防車を配置することになっています。

また教育関係では、小学校費として三百五十万円を追加し、入善小の渡り廊下改装工事や小摺戸地区の青年学級室新設費、柗山小の内部塗装工事費などにあてます。中学校費は二百二十万円の追加で、飯野中、黒東中の内部改装工事、上青中、黒東中の美術、音楽用机、いすの購入費などになっています。

企画財政課できる

●役場の機構を一部改革
課設置条例が改正され、新しく企画財政課、農政課、商工水産課が誕生し、産業課がなくな

りました。

▼国保税条例の一部改正

医療費が年々高くなってくることが、七割給付実施に伴ってやむをえず、保険税の税率を次のように引き上げました。

●所得割
前年中の総所得金額、退職所得金額および山林所得金額の合計額(課税標準額)から基礎控除額十万円を引いた残りの所得金額の百分の一・八(改正前は百分の一・七)

●資産割
土地および家屋の固定資産税額の百分の二十一(改正前百分の十八)

●被保険者均等割
被保険者一人につき一千四百円(改正前一千二百円)

●世帯別平等割
一世帯につき一千八百円(改正前一千五百円)

採択された 請願と陳情

- ▽町道小杉―墓ノ木線の一部拡幅について 下山区
- ▽県道(入善―吉原線)の橋梁かけかえならびに舗装について 吉原地区
- ▽北陸本線生地―西入善間、下飯野踏切の立体交差化促進について 飯野地区
- ▽中町アーチ改装補助について 中町共栄会
- ▽町営五十里住宅前用水堤防の

○：さる四月、関西電力が県へ朝日第一、第二発電所の建設許可申請を出して以来、当町としては町長の念願だった役場庁舎建設も返上して黒部川流域変更絶対反対運動を展開しているが長年、隣どうしで話してきた朝日町が建設大賛成と、全く敵みない間柄になってしまった。

おちほ

○：将来は広域行政という点から合併も考えられている両町だけに、非常に残念な話だが、利害の反するだけにしかたのないところ。かって野中地区の分離問題でこれにこじれていた町民感情も、最近はその経過と黒東地域議員協議会の話し合いなど融和の方向をたどっていただけに、両町としてもあまりに相手を刺激するような態度はつしみたいもの。

○：しかし当町としてもどこにも遠慮することはないわけだが、ただ反対をとんえていられるだけでは世論の味方も得られず、決して得策とはいえない。流域変更されては県下の米どころも水不足で農家の被害ばかりでなく、工業、飲料水にも大きな影響をおよぼすことなど、もっと科学的根拠を打ち出し、効果的な運動にしていってほしい。

- 補強について 入膳地区
- ▽町道東町―中学校線の拡幅舗装について 入膳六区
- ▽朝日簡易裁判所の庁舎改装に關する陳情 朝日簡易裁判所
- ▽都市計画線(入膳八区内)より八号線に至る上諏訪線道路一部拡幅新設に關する陳情 入膳八区

ご寄附 感謝いたします

受付金品	寄附目的	寄附者氏名
給食施設費 金 19,000円也	横山小	横山小PTA
芝生カラーテレビ ユニカラー19WE (¥ 193,000円)	入善小	東京都電信電話公社 日本総裁 米沢滋
会議室用折たたみ 椅子20脚 (¥ 24,000円)	入善小	入善小PTA
消防自動車購入資 金(¥ 200,000円)	上原消防分団	上原地区

原付自転車の 標識とりかえ

原動機付自転車の標識を次の日程により変更いたします。
場所 入善町役場

日時	地区名
8月17日	午前11野中、新屋見 午後11小摺戸、舟見
8月18日	午後11飯野、横山 午後11青木、桐山
8月19日	午後11上原、桐山 午後11入善
8月20日	勤務の都合等で地区の日程に出られない方

停電防止に 支障樹木を切ろう

最近、停電の原因として樹木の接触や倒壊によるものが多いので、皆さんのご理解ご協力により伐採を進めています。しかしまだまだ伐採しなければならぬ所が多くありますので、格別のご協力をお願いします。
(北陸電力入善営業所)

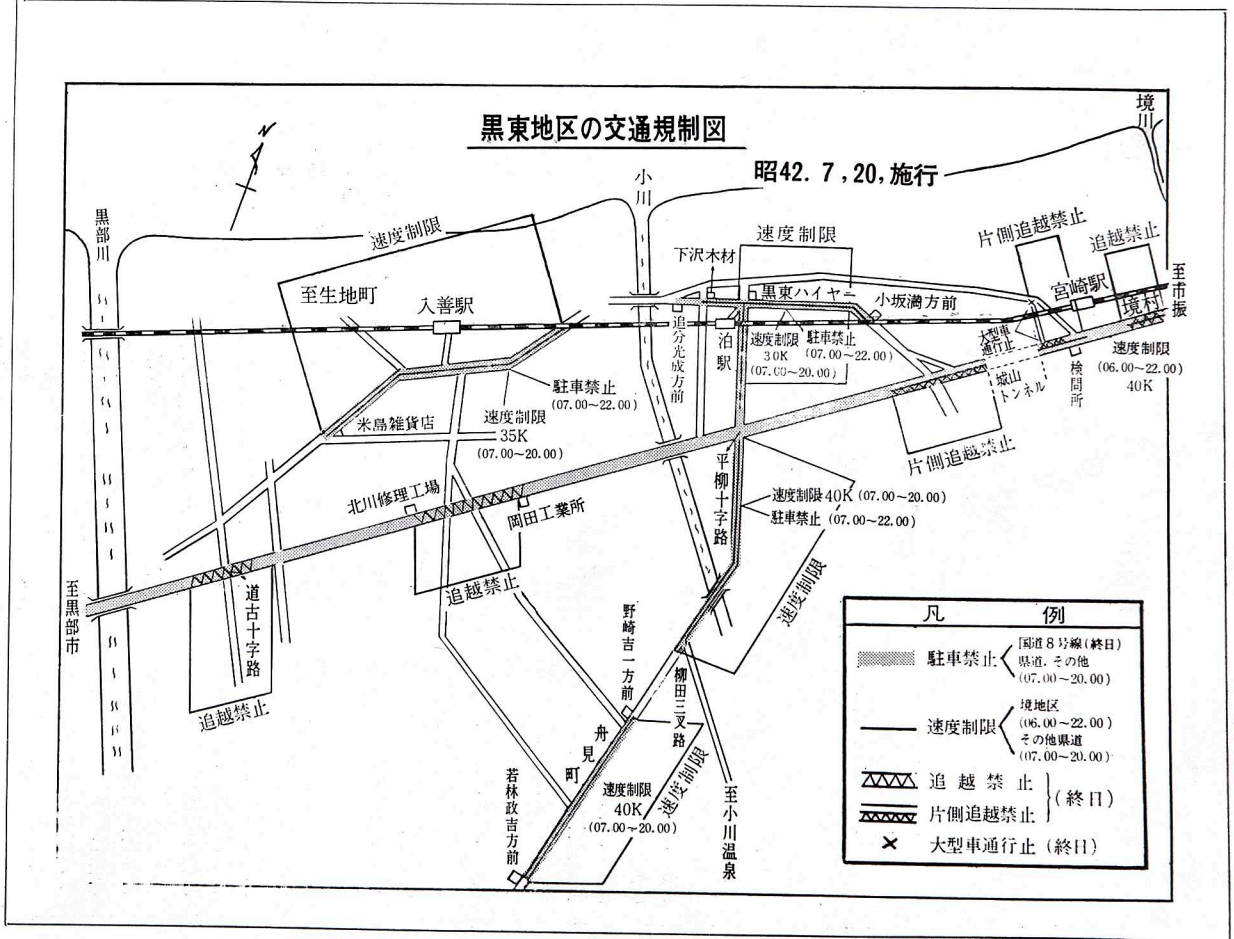
私製電話帳に ご注意

電話番号簿広告料金の請求や広告の申込みには郵便振替用紙が送られていますが、これは電電公社とは関係がありません。
●電電公社で発行している電話番号簿は一年に一回、五十音別と職業別の二冊を無料でおくばりしています。
●広告料金は毎月の電話料金とあわせて、公社の支払請求書でいただきます。郵便振替用紙は使いません。

●電電公社の料金支払請求書と類似した振替用紙が送られてきたら、すぐ電報電話局へお問い合わせください。
(入善電報電話局
七二二二五〇)

戦没者追悼法要

- 8月20日午前8時より
- 場所 入善町養照寺



人事異動

- 企画財政課 () 内は旧職
 - 課長 竹島 米吉 (産業課)
 - 課長代理企画係長 坂東 高義 (総務課)
- 財政係長 宝田幸雄 ()
- 主任 野坂 和敬 ()
- 主事 柳沢 一郎 長島陸子
- 農政課
 - 課長 森下 政雄 (教委)
 - 課長代理農地係長 上田 昇 (税務課)
 - 農林係長 水野久昌 (産業課)
- 主任 上原 武男 ()
- 主事 稻場光成 寺西英明 込尾幸子 ()
- 技師 盛田功 尾崎嘉六
- 商工水産課
 - 課長 高森正一 (収入役室)
 - 課長代理商工水産係長 藤井 実 (産業課)
 - 主任 小森 勇峰 ()
 - 主事 島田 栄子 ()
- 総務課
 - 課長代理総務係長 池原 助造 (建設課)
 - 行政係長 小森繁次 (総務課)
 - 教育委員会
- 主任 早川 崇 (産業課)
- 舟見支所庶務係長 西尾 信孝 (住民課)
- 総務課長 坂東賢 (総務課)
- 税務課
 - 固定資産税係長 川内 義尊 (税務課)
 - 徴収係長 福沢浩 ()
 - 建設課
 - 課長代理建設係長 尾山 芳雄 (建設課)
 - 庶務係長五十里宗栄 (産業)
 - 収入役室長 入江 安正 (舟見支所長)
 - 住民課

結核は まだ こわい

毎年十数名の患者が発生

結核は、人から人へうつる病気です。かつては、世界中でいちばん多く人のいのちをうばった殺し屋でした。日本だけでも明治から昭和にかけて、結核でなくなった人は、太平洋戦争でいのちをたれた日本人の四倍にも達しています。

つい最近まで、結核はなおらないやまいでした。しかし、いまでも人間にとって、やっかいせんばんな病気です。

・全地区の結核検診は

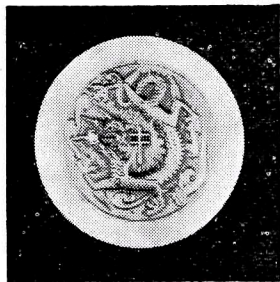
8月18日 8月28日
9月22日
会場 入善町中央公民館

七月八日夜七時四十九分、西入善駅より教育長はじめ諸氏の方々に見送られ、十一日まで四日間の日程で、飯野青年学級研修旅行団二十六名は「国立中央青年の家」「富士五湖」へと出発しました。規律に従い、社交性や友愛心、創造的な活動力をたかめ健全な青年、よりよき社会人をつくることをモットーとする青年の家に胸を躍らせ、まるで小学生の遠足のようにした。

車中では明日にそなえて寝る人やゲームに精出す人等さまざまでした。九日朝六時上野駅に到着し、国電に乗り換え、めざす青年の家へと霧に囲まれた道をバスは急ぐ。そして、たちこめる霧の中にもめざす青年の家が大きく、美しくそびえて、私達の期待はきつと破れることはないと思わずにはおれませんでした。

特別な治療法がなかったころは、非常にたくさんの方が結核に罹ってなくなりました。生きのこっても、なおる望みのうすい病をかかえて、何かも何年もの間、苦しむだけでした。いまはすっかり様子が違ってきました。結核に驚くほどよく効く薬が発見されて、特別な治療ができるようになったからです。このため結核に罹ったとしてもその後の見通しは大きくかわりました。

この見通しは、ここ数十年のあいだに、大へん明るくなりましたが、それだけに厄介なことがおきています。死亡率がぐん



とさかったことは、耳よりな話を抱えながら暮らす病人が多くなったことや、家族や同じ家に住む人たちのあいだでの、病気の伝染があつたこと、結核から回復しても、肺の働きが衰えたままの人がふえてきた話には、耳をかたむけるのもいやなことです。いつぼうう治るようになったといわれながら日本では、いまなお毎年三十四万をこえる新しい患者の届出があるというのです。わたくしたちの町でも、毎年住民検診で十

数名の新しい患者が発見されています。家族ぐるみ検診を終え明るい健康な家庭をつくりましょう。

特別表彰に輝く 結核対策推進事業

私たちの町は、五年以上結核対策推進に最優秀な成績（九五%以上）あげたので、このほど結核予防会総裁秩父宮妃殿下より特別表彰状と記念牌（写真参照）を受賞しました。

第一生命ホール（東京）での表彰式には、米沢町長が出席。表彰後の総裁招待午さん会では妃殿下の対面の席に選ばれ、いろいろと質問を受けられ、さらに被表彰の十市町村長を代表して謝辞を述べる荣誉に浴しました。そのうえ皇居内で皇后陛下の賜詔の栄にも浴するなど、町長にとって生涯忘れられない日となることでしょう。

青年団を必要とする現在の立場等のはなし、若い者をコミカルにリードしてのオリエンテーションを終え、決められた清潔な部屋へとわかれ、ある者は「殺風景」、ある者は「病室のようだ」とあまりの清潔さにこんな声が聞かれるほどだった。青年の家での感じは第一に時間厳守

時間厳守の大切さ



であった。

日常生活において私達があまりにも時間を無駄にしていることを痛く感じました。宿泊定員は第一宿舎が四百四十一名、第二宿舎百十名、計五百五十一名です。この大家族を収容する大きな建物が一つの規律のもとに

正しい生活が行なわれているのに驚きました。富士を背にわずかな自由時間は岐阜県の青年団との交流会で歌とゲームの数々、時の経つのも忘れ、見も知らぬ岐阜県の青年達となんのこだわりもなく、うちとけ込めるのは、やはり青年の家のもつ規律の正しさの中

国立中央青年の家に学んで 立塚 毬子

飯野青年学級

にあるように思えました。中食後の講義が都合のため体育に切りかわりました。山の天候の変りやすさ、外は雨が降りしきっています。雨音を耳に夕べの集い、そして入浴と時間厳守。夕べの集いのとき三分ほど遅れて入浴した青年が

厳しく注意されるくらいです。八時から栃木県真岡市小前青年団との分教会にのぞきました。農村に生活する若人同志考え方はよく似ていて、嫁と姑の問題、現在の青年のあり方と話はつきなかつた。十時消灯。正しい生活のせいでしょうか、快い眠りにおちいりました。たった一泊の「青年の家」での生活でしたが、所長のはなしを聞きながら去りがたい気持は私だけでなかつたと思う。

青年の家での目的は
一、自分をつみつめる
二、言葉より行動
三、真実に生きる美しさ
現代の中に生きる私達の失なわれそうになっているなにかを改めて痛感せずにはおれません。この尊い経験が私達の生活の上に、そして青年学級の活動の中に生かすことを決意しつつ、帰りの車中の人となった。



▼夏のつかれ

酷暑から残暑へと、きびしい暑さのため体がだるかったり、食欲がなくなったりします。いわゆる「夏のつかれ」ともいえるのですが、こんなとき、食中毒にかかったり夏かぜをひいたりするものです。

調理や食前の手洗い、食器調理具の清潔、食品の取り扱いなどに十分気を配りましょう。また夜あけ前の涼しさにあわせて寝まきや夜具類を用意することも忘れてはいけません。幼児や老人がいる家庭では、とりわけ注意が肝要です。

▼カロチン

ほうれん草やにんじんなどの黄緑野菜の色素は、カロチンといて、からだの中にはいるとビタミンAに変わる性質があります。ところがカロチンは案外吸収されにくいので、油類といっしょにとるとBが加えられて吸収がよくなります。Bが多いレバーとこまつな、にらなどを油でいためて食べるとたいへん効果的です。

▼ぬかみその味

夏の暑いときはぬかみその味が変わりやすいものです。きゅうり、なすなどは水分が多いので床がゆるみ、すっぱくなります。そんなとき、細長いざるにぬかみそを入れて余分の水をとり、ぬかを補って、手まめに手入れをくりかえしましょう。

▼日焼けをなおすには

日焼けをなおすコツは「時間をかける」ことです。かわがむけかけても目分ではがしてはい



あたたかいご芳志を感謝いたします
入善町善意銀行
(6月21日～7月20日)

現金の部		預託(寄附)	内容
入膳10区	吉田清	10,000円	亡長男栄の供養として指定寄附(入善中5,000入善小5,000)
入膳15区	山本正勝	5,000円	善意銀行へ(毎月)舟見七夕祭りの残金を)
舟見下町	児童クラブ	500円	〃
一宿柳沢	善吉子	100円	拾得金
古黒部内	柳川(匿)	200円	〃
役場内	善敦名	60円	〃
		6件	15,860円
物品の部			
入膳13区	匿名		子供衣類45点 恵まれな子供用衣類110枚
吉原2区	浜岸操		い子子供用衣類110枚
上青中1年	安原絹子ほか2名		千羽つる1連 施設へ

新着図書

図説近代日本史 8 10 11 12
日本近代史研究会
カラーガイドシリーズ 5 7 12 19
山田書院

日本科学技術史大系 25
日本科学史学会
世界思想 6 10 14 16 17
河出書房新社

現代法 9
岩波書店
現代世界ノンフィクション全集
筑摩書房

日本古典文学大系 86 91 岩波書店
徳川家康 24 25
山岡荘八
合本三太郎の日記
阿部次郎

若き日をどう生きるか
古谷綱武
歴史もよま話
池島信平
海軍主計大尉小泉信吉
小泉信三

半生の記
松本清張
四季の花壇づくり
鶴島久男
日本の美術 25
平凡社



おめでとう(出生)

住所	保護者	続柄	名前
舟見	若林ノブ子	長女	真裕美
東	細田行夫	二女	千賀
入膳	水野孝男	長女	あけみ
入膳	野田武男	長男	誠彦
入膳	保妻勝彦	長女	しのぶ
入膳	能登聡一	長女	志起乃
木根	木本作松	長女	美千代
芦崎	飯沢明夫	二女	真澄
桐山	佐藤昭則	長女	めぐみ
舟見	藤塚明義	長男	博行
入膳	板谷信雄	長男	秀樹
木根	沢田和男	長女	裕子
新屋	白又勇	長女	真佐美
入膳	藤塚博義	長男	太久哉
五十里	沼田周二	長男	正樹
小摺戸	寺林博	二男	祐二
入膳	竹内省吾	長男	雅人
入膳	紺田隆喜	長男	志信



おくやみ(死亡)

住所	氏名	年令	世帯主
入膳	津田はる	60	菊次郎
道市	福島菊次郎	74	正雄
吉原	松原きよ	68	幸作
愛場	金山やよ	77	要作
上野	宝田兼次郎	79	本人
新屋	早川竹次郎	79	長吉
今江	梅津いと	79	与一
荒又	青木栄松	74	直二
青木	松本政太郎	59	本人
下飯野新	前田助三郎	67	本人
芦崎	木原秀治	1	松男
小杉	西島ひろ	84	長作
袖沢	青木ため	87	清太郎
住	氏名	年令	世帯主
入膳	津田はる	60	菊次郎
道市	福島菊次郎	74	正雄
吉原	松原きよ	68	幸作
愛場	金山やよ	77	要作
上野	宝田兼次郎	79	本人
新屋	早川竹次郎	79	長吉
今江	梅津いと	79	与一
荒又	青木栄松	74	直二
青木	松本政太郎	59	本人
下飯野新	前田助三郎	67	本人
芦崎	木原秀治	1	松男
小杉	西島ひろ	84	長作
袖沢	青木ため	87	清太郎